

ランチオンセミナー・アフタヌーンティーブレイク・イブニングセミナー

1日目 7月8日(日)

12:00～13:00 第2会場(ホールB7(1))

ランチオンセミナー1

テーマ「ちょっと待って! お母さんに相談されたその乳児血管腫, 本当に『放っておいていい』んですか?」

座長:長崎大学病院 増崎 英明

演者:北村理子クリニック皮ふ形成外科 北村 理子

共催:マルホ株式会社

12:00～13:00 第3会場(ホールB7(2))

ランチオンセミナー2

テーマ「周産期の栄養と母子の健康問題:出生前コーホート研究」

座長:埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター新生児科 側島 久典

演者:愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座 三宅 吉博

共催:株式会社明治

12:00～13:00 第4・5会場(ホールB5)

ランチオンセミナー3

テーマ「胎児評価の新展開～胎児生体電気信号の可能性～」

座長:東邦大学医学部新生児学講座 與田 仁志

演者:神奈川県立こども医療センター新生児科 川瀧 元良

国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター胎児診療科 杉林 里佳

共催:アトムメディカル株式会社

12:00～13:00 第6会場(ホールD7)

ランチオンセミナー4

テーマ「心機能評価の新たな知見—超音波による胎児・新生児管理の未来—」

座長:東邦大学医療センター大森病院産婦人科 中田 雅彦

演者:順天堂大学医学部附属浦安病院産婦人科 山本 祐華

埼玉医科大学総合医療センター小児科小児循環器部門 増谷 聡

共催:株式会社日立製作所

12:00～13:00 第7会場(ホールD5)

ランチオンセミナー5

テーマ「早産予知と予防」

座長:東京女子医科大学附属八千代医療センター母体胎児科 正岡 直樹

演者:福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 藤森 敬也

共催:積水メディカル株式会社

2日目 7月9日(月)

12:00～13:00 第1会場(ホールC)

ランチオンセミナー6

テーマ「切迫早産管理の新しい流れ—short tocolysis と早産予防用ベッサリー—」

座長:独立行政法人国立病院機構佐賀病院 野見山 亮

演者:宮城県立こども病院/東北大学大学院医学系研究科 室月 淳

共催:原田産業株式会社

12:00～13:30 第2会場(ホールB7(1))

ランチオンセミナー7

テーマ「日本看護協会後援プログラム CLoCMiP 承認研修:助産師および後輩教育者に関連した研修」

座長:日本赤十字社医療センター看護部 井本 寛子

演者:聖路加国際大学 堀内 成子

神戸市看護大学 高田 昌代

長崎大学 江藤 宏美

共催:トーイツ株式会社

12:00～13:30 第3会場 (ホール B7 (2))

ランチョンセミナー 8

テーマ「災害に備えて必要なネットワークづくり」

座長：日本看護協会 福井トシ子

1. 災害時に母と子を守るために 院外のネットワークづくり
演者：あいち小児保健医療総合センター救急科 伊藤 友弥
2. 災害時に母と子を守るために 院内周産期のネットワークづくり
演者：高知医療センター総合周産期母子医療センター産科病棟すこやか B 関 正節
共催：ニプロ株式会社

12:00～14:00 第4会場 (ホール B5 (1))

ランチョンセミナー 9

テーマ「妊娠関連血栓微小血管障害 (TMA) に関与する非典型溶血性尿毒症症候群 (aHUS) の鑑別と管理」

座長：慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 田中 守
三重大学大学院医学系研究科産科婦人科学 池田 智明

1. 「補体の活性化とその制御機構」
演者：福島県立医科大学医学部免疫学講座 関根 英治
2. 「aHUS の疾患概念と治療の実際」
演者：杏林大学第一内科 (腎臓・リウマチ膠原病内科) 要 伸也
3. 「aHUS と鑑別が必要な妊娠関連疾患」
演者：三重大学医学部附属病院産科婦人科 田中 博明

総合討論

共催：アレクシオンファーマ合同会社

12:00～13:00 第5会場 (ホール B5 (2))

ランチョンセミナー 10

テーマ「世界に先駆けた子宮圧迫止血縫合専用針の開発と臨床」

座長：地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター産科 光田 信明

演者：大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教室 松崎 慎哉

共催：アルフレッサ ファーマ株式会社

12:00～13:00 第6会場 (ホール D7)

ランチョンセミナー 11

テーマ「剥がしておきたい／話しておきたい癒着の話」

座長：独立行政法人地域医療機能推進機構三島総合病院 松田 義雄

演者：杏林大学医学部産科婦人科学教室 谷垣 伸治

共催：科研製薬株式会社

12:00～13:00 第7会場 (ホール D5)

ランチョンセミナー 12

テーマ「SMA の早期発見、早期治療の重要性」

座長：大阪母子医療センター 和田 和子

演者：神戸大学大学院医学系研究科地域社会医学・健康科学講座疫学分野 篠原 正和

共催：バイオジェン・ジャパン株式会社

14:20～15:20 第5会場 (ホール B5 (2))

アフタヌーンティーブレイク

テーマ「母体救急救命への最新の取り組み」

座長：順天堂大学産婦人科学講座 竹田 省

昭和大学医学部産婦人科学講座 関沢 明彦

1. 「妊産婦死亡の現状と再発防止に向けた活動について」
演者：昭和大学医学部産婦人科学講座 関沢 明彦
2. 「産科危機的出血への対応指針 2017」
演者：順天堂大学産婦人科学講座 竹田 省

共催：アイクレオ株式会社

16:10～18:10 第2会場 (ホール B7 (1))

イブニングセミナー

テーマ「人生を左右する胎児期 ～DOHaD から学ぶ～」

座長：浜松医科大学 金山 尚裕

岐阜県立看護大学 服部 律子

1. 「潰瘍性大腸炎の私は、今や二人の息子を持つ遅い母」

演者：まーこっこ助産院 菅 里奈

2. 「小さく生まれたその後は？—低出生体重児の生後発育について—」
 演者：東海大学医学部小児科学 鈴木 啓二
3. 「未熟児，帝王切開児の腸内細菌の異常は将来の疾病リスク
 —小児の正常な成長，発達に望ましい食事と腸内細菌—」
 演者：順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座 山城雄一郎
4. 「小さく産んで大きく育てるのは良いことか？
 —DOHaD 説と nutri-epigenomics からみた次世代の健康—」
 演者：早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構規範科学総合研究所／日本 DOHaD 学会代表幹事 福岡 秀興
 共催：有限会社青葉

3日目 7月10日 (火)

12:00～13:00 第1会場 (ホールC)

ランチョンセミナー13

テーマ「周産期医療における，超音波直結クラウドを使ったアーカイブとリモート胎児診断支援」

座長：長野県立こども病院 中村 友彦

演者：クリフム夫律子マタニティクリニック臨床胎児医学研究所 夫 律子

共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

12:00～13:00 第2会場 (ホールB7 (1))

ランチョンセミナー14

テーマ「サプリメントと周産期疾患」

座長：富山大学大学院産科婦人科学講座 齋藤 滋

演者：日本医科大学 中井 章人

共催：バイエル薬品株式会社

12:00～13:00 第3会場 (ホールB7 (2))

ランチョンセミナー15

テーマ「切迫早産治療と周産期脳障害，日本のデータから」

座長：福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 藤森 敬也

演者：宮崎大学医学部附属病院産婦人科 鮫島 浩

共催：東亜薬品工業株式会社

12:00～13:00 第4会場 (ホールB5 (1))

ランチョンセミナー16

テーマ「より安全な妊娠分娩管理を目指して」

座長：宮崎大学医学部附属病院産婦人科 川越 靖之

1. 「妊娠を考慮した腹腔鏡下手術を目指して～腹腔鏡下技術認定医が考える理想的な術式とは～」

演者：東邦大学医療センター大森病院産婦人科 土屋 雄彦

2. 「子宮筋腫核出術後妊娠の管理～子宮破裂や穿通胎盤をふまえて～」

演者：順天堂大学医学部附属順天堂医院産科・婦人科 牧野真太郎

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

12:00～13:00 第5会場 (ホールB5 (2))

ランチョンセミナー17

テーマ「周産期医療の未来をつくる電子カルテ産科システム導入でかわったこと，これからかえていきたいこと」

座長：東邦大学産科婦人科学講座 中田 雅彦

演者：宮城県立こども病院産科 室月 淳

共催：株式会社ファインデックス

12:00～13:00 第7会場 (ホールD5)

ランチョンセミナー18

テーマ「我が国のRSウイルス流行の変化とその対応」

座長：杏林大学 楠田 聡

演者：日本大学 森岡 一朗

共催：アッヴィ合同会社